

事業の基礎情報

事業実施地域	広島県広島市中区
人材育成の対象	1) 高度人材 [都市計画コンサルタント、都市開発に関わる業種、大学教員、学生等] 2) 共創人材 [交通事業者、カミハチエリアの沿道地権者等ステークホルダーのうち1) をのぞく者]
人材育成の手法	専門家やステークホルダーを含めたレクチャー、ワークショップ、シャレット等
人材育成の内容	交通実態把握等の調査・データ取得、分析、活用、共有するプロセスデザインの実践
想定育成人数	合計100人程度 [(1) 高度人材30人、2) 共創人材70人]

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

広島都心の東西の核となるエリアを貫く相生通りは、沿道建物の建て替えや再開発が進む一方で、自動車を中心とした道路構造であるために快適な歩行空間や滞在空間の確保、沿道建物のグランドレベルとの一体的な活用が十分には行われておらず、公共交通の利便性も十分には発揮できていない。こうした課題を解決しながら、公共交通の魅力を最大化し、都心の求心力を高める方策としてトランジットパーク化をリーディングプロジェクトとして位置づけている。これを実現するためには、現状の交通実態の調査・データ取得、分析し、対象エリアのステークホルダーと活用策を検討し、合意形成につなげ、アクションプランに落とし込み、実装段階では市民へのエンゲージも含めた共創的なプロセスデザインを行う人材の育成が求められる。

(事業の概要)

- 1) 相生通りトランジットパーク化検討における交通実態把握等の調査・データ活用、分析、活用、共有する全体計画のプロセスデザインの実践を通じて高度人材を育成する。
- 2) 1) の人材が行うレクチャー、ワークショップ、シャレット等を通じて、共創的な視点を取得し、今後各自において沿道地権者等との調整・連携を行いながら自発的に課題解決に向けた具体的なアクションプランを考えることができるような共創人材を育成する。

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

	短期 (本事業終了時)	中期 (道路空間再編、ウォークブル化が実現)	長期 (トランジットパーク化が実現)
高度人材	調査を通じた一連のプロセスデザインの実践を通じて、30人程度の高度人材が育成され、これらの人材が広島都心会議を通じて派遣されることで、広島都心の他エリアでも横展開できる。	歩行者交通量の増加、滞留人数の増加、滞在時間の増加、アクティビティの多様化。沿道建物のグランドレベルとの一体的な活用の実現。駐車場の適切な配置、公共交通の利用促進。計画を認知、賛同、主体的に関わる人材の増加。	エリアの滞在時間が増加→回遊性が向上→売上の増加→地価の向上というロジックモデルの実現。働きたくなる/住みたくなるエリアの実現により、企業の入居数が増加し、転出超過にも歯止めがかかる。
共創人材	5回程度のワークショップを通じて、70人程度の人材育成が行われ、来期以降各自でアクションプランを想起することができる。		

(事業実施手順・スケジュール)



(補助事業実施後の予定)

今回の支援により確立させた調査を通じた一連のプロセスデザインの実践により育成された高度人材は、官民連携のまちづくり組織である、広島都心会議を通じて、ナレッジが共有、人材が派遣されることで、他エリアへの横展開が可能である。また、共創人材においても、各々が別のエリアでの事業を行う際にも、今回育成された共創的な視点を活かすことが可能であると考えます。